

## 議会報告会 実施報告書

実施日時	平成30年5月23日（水）19:00～20:54		
会場	プラザ萬象	来場者数	47人
役割分担	司会進行 米澤光治		
	報告 （議会の役割と予算編成について）堀居哲郎 （前年度議会報告会で寄せられた意見について）石川栄一 （総務民生）中野史生 （産経建設）豊田耕一 （文教厚生）大塚佳弘		
<p>1. 報告に関する質疑応答及び意見</p> <p>（1）議会の役割と予算編成について 報告のみ</p> <p>（2）前年度議会報告会に寄せられた意見について 報告のみ</p> <p>（3）総務民生常任委員会の報告            質疑応答、意見はなかった。</p> <p>（4）産経建設常任委員会の報告</p> <p>Q1：金ヶ崎周辺整備もいいが、敦賀市全体でどう誘客するかを具体的に考える必要がある。金ヶ崎周辺整備としての整備費用、維持管理費用など総合的に考える必要がある。</p> <p>A1：参考意見としてお受けします。</p> <p>（5）文教厚生常任委員会の報告            質疑応答、意見はなかった。</p> <p>2. 意見交換</p> <p>（1）新市庁舎の整備について</p> <p><b>Aグループ</b></p> <p>Q1：現市庁舎の場所を選んだ理由は何か。建て替えの理由は何か。建て替えに必要な予算はどれくらいになるのか。</p> <p>A1：現在の場所を選定した理由は、防災の面から、防災センターの隣である現在地となりました。また、建て替えの理由は、現在の市庁舎は耐震性がなく、地震発生時には倒壊の危険性があります。耐震補強か建て替えかの検討結果トータルコストは建て替えの方が有利であったためです。費用とし</p>			

ては 54 億円が見込まれるが、トータルで 64 億円が必要になると考えられます。

Q 2 : 現市庁舎は 43 年経過していて、耐用年数が過ぎていると考えるので、国の補助のある内に、建て替えて、夢のある市庁舎にしてもらいたい。

A 2 : ご意見ありがとうございます。市庁舎建設対策特別委員会でご意見を取り入れさせていただきます。

Q 3 : 免震、耐震のどちらにしても、地震が来たら庁舎機能は大丈夫とはいえないと思うが。

A 3 : 貴重な意見として市庁舎建設対策特別委員会での参考にさせていただきます。

Q 4 : 市庁舎を市民の憩いの場にしてほしい。

A 4 : 貴重な意見として参考にさせていただきます。

Q 5 : 新市庁舎と、金ヶ崎周辺エリアと氣比神宮とのリンクも考えた市庁舎としてほしい。

A 5 : 貴重な意見としてお受けします。

## B グループ

Q 1 : 市民への説明会、パブリックコメント等行われているが、市民の声が基本設計、実施設計に反映されるのか？市民の要望が実際に届くようにやっていただきたい。

A 1 : 現在、基本計画を市のほうで策定中であり、まだ議会のほうにも示されていない。市民から伺った意見は、反映できるものはしっかりと行政のほうに伝えていきます。

Q 2 : 中学生、高校生のワークショップが行われたが、どのような目的で行われたのか？その中でどのような意見があったのか？また、市内で会議室の選択に苦慮している。低料金で使いやすい会議室を新市庁舎内に要望したい。

A 2 : ワークショップについては、市民スペースの活用案と検討といった内容で行われ、色々な意見を伺ったようであるが、どのような意見があったのかは現在、詳細資料がこちらにきていないので答弁を控えさせていただきます。現在、市庁舎建設対策特別委員会の中でも会議室の不足を指摘しているので要望はしっかりと伝えていきます。

Q 3 : 現在、敷地内にある仮設の中の会議室はどうなるのか？現在の庁舎は市民目線になっていない。他市町と比べるとバランスが悪く使いづらいと感じる。

A 3 : 現在の仮設建物は新本庁舎のほうに取り込まれる形となる。仮設は解体され職員と公用車用の立体駐車場に整備される。

市民目線というのは重要であると認識している。要望に応えられるよう努めていきます。

Q 4 : 屋上庭園ができないか？

A 4 : 貴重な意見として行政のほうに伝えます。

#### C グループ

Q 1 : 地区の説明会には参加している。使いやすい、市民の皆さん（子ども）が集える、優しい場所を作っていただきたい。

Q 2 : 昨年の新庁舎建設場所の議論についてはある程度の理解しかしていないが、越前市では建設場所の議論に長い期間を必要とした。耐震化は理解するが敦賀は建設までが早い気がする。早く建てる理由が知りたい。

A 2 : 敦賀市の耐震が不足していることが明確になっていました。昨年までに基本計画を作る予定で進めている時に、熊本地震があり各市町の庁舎が被災して機能しませんでした。そこで、庁舎建設等に対し国からの交付金制度が作られたのですが、この制度は期限付きで、昨年9月までに早急に建設場所を決める必要がありました。

Q 3 : 今の場所に建設する時の市民への駐車場の確保はどうするのか。また、建設に対しての費用対効果が上がるようにしてほしい。

A 3 : 駐車場については、まず西側の公用車の場所と、プレハブの場所に3階建ての駐車場を先に建設して駐車場を確保してから新庁舎を建設します。その後旧庁舎を壊して、その場所を駐車場にします。

（追加）職員の駐車場も含めて確保できるのか、近くで確保してほしい。

⇒できるとの説明を受けています。

（追加）防災センターはどうするのか

⇒そのままであり、消防署のみ新規に建設します。

Q 4 : 庁舎の説明会については市民の参加が少なく、盛り上がり欠けている。市民への周知と市民の共感が必要。また、新しい庁舎には機能を重視してほしい。

Q 5 : ワークショップには3回出席をしたが3回では少ないのではないか。

私（質問者）はプラザ萬象敷地案には賛成であったが、議員の反対した理由を知りたい。

Q 6 : 建設のスケジュールは理解するが、市民目線で進めてほしい、また、市民への告知が不足している。

全体へのA : 皆様から頂いた提言は、特別委員会でも提言していきたいと思えます。また、現在パブリックコメントも進めていますのでご意見をお寄せください。また、「広報つるが」の中にも市長への提案メールがありますので

提案をお寄せください。

Q 7 : 設計は進んでいるのか。

A 7 : まだ正式には進んでいません。本日の皆様の意見も含めて市に伝えていきたい。

Q 8 : ワークショップの意見は反映するのか。

A 8 : 意見の中で反映されるものもあると考えています。

## (2) 新幹線開業を見据えたまちづくりについて

### Aグループ

Q 1 : 新幹線敦賀駅は、県内のどこの駅よりも先に、先導をとって敦賀市がリードして行ってもらいたい。また、木ノ芽川を利用した駅を考えてもらいたい。雪国なので風雪に耐えられる駅舎を考えてもらいたい。

A 1 : 新幹線対策特別委員会でのご意見として受けさせていただきます。

Q 2 : 敦賀港線の復活をお願いしたい。

A 2 : 新幹線対策特別委員会での意見として取り入れさせていただきます。

Q 3 : 新幹線駅舎の上に何か敦賀らしいものを付けて、新幹線で帰ってきたら、敦賀に帰ってきたんだと思えるようなものを考えてほしい。

A 3 : 新幹線対策特別委員会でのご意見として受けさせていただきます。

Q 4 : 敦賀駅開業に向けて、敦賀市のコンセプトは何かから総合的に始めて、観光だけでなく、教育文化面についても考えたまちづくりをしてもらいたい。

A 4 : 議会の中でそれぞれ考えさせていただきます。

### Bグループ

Q 1 : 気比神宮、ムゼウム、赤レンガ倉庫などに力を入れているが、動線が点であって線になっていない。神楽商店街の方もがんばっているが、シャッターが閉まっているところもあり、寂しく思う。マイナスイメージにつながるので観光客の滞在時間が長くなるような支援をお願いしたい。

A 1 : 観光客の滞在時間、消費について議会の中でも議論されている。景観まちづくり刷新支援事業により、敦賀駅から気比神宮までの国道8号の本町区間から港までのメインストリートまでの空間活用をしてにぎわいを作りやすいような整備が今後進んでいくと聞いています。点を面、線でつなげられるようなまちづくりを今後も引き続き発信していきます。

Q 2 : 新幹線の車両基地を上から観覧できるような、泉ヶ丘あたりから見下ろせるような観光資源にできないか？ 大阪にはそういった建物がある。

A 2 : 敦賀は鉄道と港のまちであるので、貴重な意見として提案します。

Q 3 : 行政の狭いセンスではなく他市町とも交流をし、ヒントを得ながら広がり

のある、景観、バランスに重きをおいたまちづくりをしてほしい。

A 3 : 視野を広げるというのはとても大切なことなので、しっかりと行政のほうに伝えていきます。

Q 4 : 在来線の特急がなくなると鯖江、武生の方が不便である。従来通り行き来できたほうが便利である。

A 4 : これについては既に決まっていることなので、答えを控えさせていただきます。

Q 5 : 新幹線が敦賀に来た際、若狭方面にも誘客するために週に一回でも敦賀から小浜方面へ SL を走らせることはできないか？

A 5 : 広大な構想で非常に素晴らしいと思いますが、莫大な費用がかかるのと、SL も老朽化で台数も限られています。以前、敦賀～小浜間を数回往復した事実があるが情勢が変化し困難な状況です。県は水素が動力の SL を金ヶ崎周辺に走らせるという構想を持っています。

### C グループ

Q 1 : 気比神宮、松原海岸等で観光客の受け皿ができていないのではないかと、特にトイレ等の改善については敦賀市の対応ができていない。

Q 2 : 新幹線開業については多くの会議等が行われているが新幹線開業に対しての観光客 225 万への試算ができているのか。それにより、駅西口の開発では（民間施設の）運営は民間対応であるが、お客さんがどのくらい来るかにより規模が決まるのではないかと。

Q 3 : 現在、藤が丘の地域ではトンネルの工事が進んでいるのでもっと市民に対して進捗状況の広報活動をしっかりやってもらいたい。まちづくりについては市民の関心は持たれていないかもしれないが、建設を通じて市民への関心を進めてほしい。

Q 4 : 敦賀市には多くの観光の資源(史跡)がある。気比神宮をはじめ、三大松原があるが、駅前からの縦軸はあるが横軸がない。また、心配していた旧松原(水戸烈士)の史跡は移築とのことで安心している。金ヶ崎の整備(ムゼウム)に 13 億をかけることに異論を唱えるわけではないが、敦賀市に一泊しなければ回れない施設の充実が必要と考える。

Q 5 : 観光客の誘客については松原海岸近くに宿泊施設が欲しい。赤レンガの収容規模が少なく行くまでの道路が複雑である。また、博物館通りは中途半端と感じている。要するに、各施設等を含めてコーディネートできるエキスパートが必要ではないか。

Q 6 : 物にかけるのではなく、人材にかけるべきである。敦賀市には多くの歴史的な史跡があるので、現在の点から線につなげ延ばしていくべきである。

お金をかけるのではなく、例えば遠くは愛発の関所や気比神社等を結んでいくことが大事である。

Q 7 : 北陸新幹線の敦賀開業時後の 2 年後はリニア新幹線との戦いになるのではないか。

全体への A : 皆様から頂いたご意見をまとめて行政と特別委員会もありますので提言していきます。ご意見は参考にさせていただきます。

### (3) 教育と文化振興について

#### A グループ

Q 1 : 学校だけでなく、家族ぐるみの教育をしてもらいたい。人道の港敦賀ミュージウムから教育ができるのではないか。

A 1 : 意見として受けさせていただきます。

Q 2 : いじめや子どもの貧困は、発生してからでなく、起こる前に対処することを考えてもらいたい。

A 2 : 確かにその通りです。10 年先を考えた教育を考えていかないといけないと思います。私の考えですが (北川)。

Q 3 : 文芸協会がなくなったが、市として対応していけるのか。美術館が必要でないのか。

A 3 : 今後の文教厚生常任委員会で考えていきます。

Q 4 : 市民文化センターのビジョンを提示しないと、誰も指定管理者で来ないのではないか。これからは、敦賀の伝承文化を子どもを巻き込んでやっていると、文化の継承はできないのではないか。

A 4 : 貴重な意見として受けさせていただきます。

#### B グループ

Q 1 : 教師の働き方改善について敦賀市としては具体的にどのようなことを行っているのか？敦賀市ではダンス人口が多いのとクラフト系のイベントがにぎわっている印象がある。こういったものが文化事業の概念に合っていると思うが、これに対しての補助等はあるのか？

A 1 : 敦賀市は働き方改善について今年度 8 9 4 万円の予算をかけ、2 つの事業を計画しています。1 つは教師以外でもできる仕事の補助を行い、教師の仕事の負担軽減を図る学校運営支援員を配置します。もう 1 つは単独で部活動指導、引率ができ部活動の面でも教師の補助ができる部活動指導員の配置です。これを教師の負担軽減となるよう具体的な施策として進めていきます。文化振興の支援とは、基本的には市民の方が自らコンサートなどを行う際の支援に 5 0 0 万円の予算が計上されています。

Q 2 : 文化センターの指定管理者の公募ということだが、何を求められているのか？文化センターは行政が運営していないのか？

A 2 : 敦賀市内では文化センターを単独で任せられる事業者はないと聞いています。指定管理を任せられる事業者は、文化センターのような1階席のみで800席以上あるような文化的なホールを管理した経験があり、全国的にイベント等を開催しているような事業者を想定しています。公募は既に終了しており、選定委員会が開かれ、議会に提案されます。文芸協会から今回、指定管理者制度に移行することとなりました。新しい管理者が決まるまでは行政がつないでいくことになっています。

Q 3 : 児童クラブの設置場所、駐車場の問題等、納得できないところがある。議会ももっと関わって意見を言うべき。

A 3 : 設置場所、駐車場の問題などは議会としても指摘しています。今後もしっかりと審査、監視していきます。

Q 4 : 子どもがクラブチーム、スポーツクラブ等に通えば、放課後の教師の部活動軽減になる。スポーツ以外で例えば裁縫、パッチワークなどの文化的なものもよいと思う。敦賀といえばムゼウムがあり、ユダヤ人と関連があるのでユダヤ文化を定着させればユダヤ人は豊かなので敦賀市にとって利益になると思う。

A 4 : 今年度からスポーツクラブ等も部活動としてカウントされるようになりました。これも教師の負担軽減として今後も続けていくこととなります。現在、敦賀にはユダヤ人、イスラエル人の方もたくさん来ていただいているので、貴重なご意見として市にもこの意見をしっかりと伝えて活用してもらいたいと思います。議会としてもしっかりと伝えていきます。

## C グループ

Q 1 : 教育も先ほどの市街地のようにエキスパート（専門家）が必要でないか。先生に求めるのではなく、クラブ活動も専門家が必要。学校単位で難しいのであれば、サッカー等のクラブチームで好きな子がすればよいのではないか。文化について敦賀市は非文化都市であると感じている。多くの方が補助ももらえずにボランティアでやっているの、そこにも目を向けてほしい。お金だけではなく場所の提供でもよいのではないか

Q 2 : 文化センターの指定管理については、他市町を見ると活動の広がりがあり、若狭町、越前市も多くのことをやっているのを参考にしてほしい。敦賀市文化センターの文芸協会の事務所はありえない場所にあるので、これでは文化の振興にはならないと思う。敦賀市でいい物を観てみたい。

Q 3 : 教育について、先生方はクラブ活動も含めて働き過ぎである。負担軽減を

お願いしたい。また、子どもの見守りはまずは保護者が率先して見守りを  
お願いしたい。

Q 4 : いじめの問題についてはまずは、人を侮辱することはいけないことを教え  
ていかなければならない。また、命の大切さを教えていかなければならな  
い。

Q 5 : 角鹿小中一貫校について。私もこの件に携わってきた一人としては、今、  
形になろうとしている経過は色々あったとは思いますが決まった以上はひと  
りひとりが最善を尽くしてほしい。

Q 6 : 敦賀の学力は向上しているので、もっと、もっと取り組んでいただきたい。

Q 7 : 地方創生について地元で大学の学部の創設を行うことは考えられないか。

(時間がなく回答はなし)

#### (4) 市議会、市政への意見

##### Aグループ

Q 1 : こうして、議会が市民の声を聞く姿勢は大変いいことだと思う。議員でも  
それぞれ得意分野があるので、全員で意見を聞くことはいいことだと思う。

A 1 : ありがとうございます。

Q 2 : サイレントマジョリティをどうしているのか。

A 2 : 市民の集まりの中に入って行って、大人や子どもの意見を聞いている。

Q 3 : 委員会の傍聴に行ったが、その時に審議されていないことが、翌日の新聞  
に出ていることは、信用できない。いったいどこで委員会を開いているの  
か。

A 3 : そういうことはないと思います。声としてお聞きしておきます。

Q 4 : 敦賀市は金ヶ崎や気比神宮だけでなく、松原海岸や水島もあるので、今後  
の観光ルートに取り入れてもらいたい。

A 4 : 貴重な意見として受けさせてもらいます。

Q 5 : 議会も、ざぶとん会を開いてほしい。

A 5 : 貴重な意見として受けさせてもらいます。

Q 6 : 市民の市政の熟知レベルに合わせた意見交換の班分けをしてもらいたい。

A 6 : 今後の議会報告会の内容検討に取り入れさせていただきます。

##### Bグループ

Q 1 : クールビズの期間、ポロシャツ、シャツ、ジャケット着用と市職員の服装  
に統一感がない。もっと明確に積極的に具体的にクールビズをやってほし  
い。

A 1 : 貴重なご意見として承りました。



Q 2 : 児童クラブはどこにあるのか？児童クラブとこども食堂を合体できないのか？

A 2 : 松原児童クラブは老朽化のため、松原小の道を挟んで南側に約100坪ほどのものが新築されます。中央児童クラブは中央小の校舎の北東に横につながるような形であります。空いている土地に270平方メートルほどの建物が建つことになっています。第2栗野南児童クラブは栗野南小の東側のグラウンドの前に、350平方メートルの施設が今年度は設計のみで来年度には新築されます。こども食堂については市の所管ではないのでお答えするのは差し控えたい。

Q 3 : 子どもたちが校区に縛られているように感じる。もっと柔軟に対応できるように応援してほしい。

A 3 : 子どもの野球チームの例だが、今は少子化で校区内だけでは子どもが少なく、チームとして成り立たないので、最終的には親の責任ということで校区外でも自由に野球をしている子どもたちの例もあります。

### C グループ

Q 1 : ふるさと納税の評価について収支が約2064万円の黒字ということに対する敦賀市としての評価についてお聞きしたい。

A 1 : 敦賀市は全国的には多くないが、収支的にプラスになっていることと経費の5000万は地元還元されているので効果はあると考えています。

Q 2 : 児童クラブへの要望がふえているが十分な対応ができているのか。

A 2 : 児童クラブの人数がふえているので受け入れる施設をふやしていき、人材についても確保をしていきたいと考えています。従来の3年生までのものが6年生までに拡大されたことがふえた要因です。人材については募集をしても人が集まらないのが現状であるが、今後も取り組んでいきます。

Q 3 : 小浜市のコミュニティは公民館が考えているが、敦賀市はどうか。

A 3 : 栗野地区ではモデル事業として地域の自主的に予算100万円で行っている。今年で3年目になり様子をみている状況です。公民館活動は地域の市民が自主的にやっています。

Q 4 : 栗野地区はコミュニティ運営協議会を作って3年目を迎えている議会、会派の方向性があれば意見を聞きたい。

A 4 : 議会としての方向性は個別の意見は言わないことになっています。

Q 5 : 議会報告会も人数の参加者数が少ないが、それについての考えはあればお願いしたい。

A 5 : 今回は参加者の皆様の声を聞く試みとして、グループ分けで実施したところです。

Q 6 : 議員の個人の意見を聞きたい。

A 6 : ルールとして個人の意見は言わないことになっています。

### 3. 反省点など

#### (1) 総務民生常任委員会

- ・正面に映す説明画面が少し見づらいように思えた。

#### (2) 産経建設常任委員会

- ・市民として興味深いテーマであったが、全体会での報告の中では、意見、質疑は、出しづらかった。(市民意見)
- ・後半のグループ討議では何点か、テーマに関するよい意見が出された。
- ・以上のことから、常任委員会の質疑も、グループ討議の中で答弁してもいいのではないか。

#### (3) 文教厚生常任委員会

- ・市民に大切な予算を選び、審議内容をわかりやすく説明できたと思う。
- ・質疑応答で質問がなく、少し寂しかったが、委員会としては何度も話し合いをして本番に臨めたのでよしとしたい。
- ・来年度もわかりやすい説明を心掛け、来場者の市民の方々に議員の議論をできるだけお伝えできるように努力すべきと感じた。

#### (4) 広報広聴委員会

- ・意見としてあった、参加市民の市政に対する認識のレベルでの班分けも必要と考えられた。新しく敦賀市に来られた市民もいることを考えるようにしなければいけないと思う。
- ・時間いっぱい、意見や要望、質問があり、あっという間の意見交換会だったが、どうしても一部の市民の発言時間が多くなってしまったと思う。
- ・今回、初めての試みとして A, B, C 3つの小グループに分けて意見交換会を行った。当初、予定通りに進行するのか憂慮されたが、滞ることなく有意義な意見交換会となった。
- ・小グループの方が市民の発言は活発。
- ・反省点としては両隣の音量が大きく、参加者の意見を聞き取るのに苦慮した。隣の音量を配慮しながら進行すべき。

### 4. アンケート

アンケートで寄せられた意見については、別添のとおり。

敦賀市議会議長 和 泉 明 殿

平成30年7月27日

敦賀市議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

代表者 広報広聴委員長 米澤 光治